

創立70年の 経済研究サークル

経済新人会は部員数300人を誇り、1946年から続く歴史のある学術サークルです。サークル内で金融、財政、時事経済、貿易、マーケティングと5つの研究部に分かれ、普段はそれぞれの研究部のテーマに沿って経済に関する論文の執筆、発表を行っています。研究部ごとの通常活動の他、3カ月に一度は研究部の垣根を越えた勉強会を開催し、各研究部の得意分野の交差から新たな学びを得ています。また、東京大学や防衛大学校など他大学の政治経済学術サークルとISFというサークル連合を組んでおり、大学の枠を超えた広い視野で食欲に学びを深めています。2016年6月には日本経済新聞社主催「日経TEST」にて、弊団体有志チームが団体で全国1位、個人でも全国2位、3位および4位に食い込む実績を残しています。その他、年数度の合宿・旅行・三田祭では著名人をお呼びしての講演会・発表会・屋台運営など企画を毎年行っており、学術面だけではない、充実したサークルです。

経済新人会



サークル NOW



ワグネル・ソサイエティー 男声合唱団



一音も妥協 しない音楽

ワグネル・ソサイエティー男声合唱団は1901年にわが国初の音楽学校以外の学生による音楽団体として発足し、2016年で創立115周年を迎えました。一音の妥協も許さないという音楽に対する真摯な姿勢は、現在の79名の団員にも受け継がれています。

定期演奏会など年に3つの演奏会を柱に、TV出演や国内外の音楽祭への参加、義塾の公式行事など活動は多岐にわたります。オーケストラとの共演も多く、2013年には富田勲作曲『イーハトーヴ交響曲』の初演を初音ミクと共に果たしました。また榎原敬之氏のデビュー25周年コンサートにコーラスとして参加するなど、新しい時代の担い手であらんと挑戦を続けております。

人に何かを伝える、自己表現をする、その手段として音楽は広く親しまれています。しかし、旋律や響きの美しさを楽しむこと、即ち音楽をすることそのものが目的たり得るのかもしれませんが。音楽に魅了され、ワグネルは今日も歌います。